

○ 委員長自ら飛行村にお出迎えの用意をいたすとの旨、
○ ソ連原子力国は各地方の行届いた歓迎をうけ、ソ連の稼働中の原子力
発電所のほとんどすべて、主要原子力研究所のほとんども、短期間のうちに

視察できた。当分の間のすばらしく早く答へてくれるなど、予期以上に
友好的な目撃開放であった。^(強行軍 1万km)
^(10日中 5日寝台車)

○ ソ連の原子力発電計画は ① 黒鉛・チャンネル型 ② カナダ型、
③ 高速増殖炉の3型を中心にまわりの ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
いた。①、②はともに既述の稼働をうけてあり、それぞれ 100万kWの
ものを着工している。①型の100万kWは今年中にレニングラド南西
60kmで運転を開始する。1975年には合計 800万kW、
1980年には 3000万kW (ほぼウクライナと全規模)

○ これは天然資源から遠い西部地域が中心だが、シベリア東部
ベリニング (金鉱地域) に 重水型併給、5万kWを今年中に運転
を開始する。レーニンと全形の 碎氷原子力船をもつ一隻近く
運^{転す}用^{する}ると、~~と~~ 竞争的である。

○ 高速炉も BN350 (カスピ海沿岸シエラフェンコで完成) は
~~チャンネル型~~、BN600 (60万kW) はタンク型と二つの型の
原型炉を併行建設中である。西欧に比べ 4 倍の
である。この優劣を見まわれば、^{1980年代} ~~高速炉を大規模に導入~~
^{大規模に導入} ~~85年以降~~

1990年頃には 重中核炉 : FBR = 1:1 に近づいていくこと
2000

200-521

日ノ+動力の歴史 (今日の視座用の資料) — 今後は何の
運の工程で - 電力 供給. 計画. 不足
容量は約 2000 MW
2:8 8:2

南米判と奇乙計画 } p.18 p.52-59-64
1035k
発電炉の奇乙計画

EU. 再処理. 貯蔵物 p.24

環境安全 p.25-30
環境安全委員会

船

燃料 脱塩

回収協力

225kWh
504kWhは建設中

かしまみちノ運

味の好みを考慮しては自給. 貯蔵. 奇乙計画.
時計. 明石. 体直し.
計画の用奇 - 修繕 → 宇市. 奇乙計画
400kWh. 貯蔵. 奇乙計画.
公算. 貯蔵. 奇乙計画.



73号
71号 记录-1号
etc